

平成30年5月吉日

電気工事店 各位

中部電力株式会社

電柱街路灯等の機器取替工事に関する取扱いの明確化について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は、弊社電気事業に関し格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

至近年、各自治体において減設による電気料金の低減および玉替が不要等の理由から、電柱街路灯の「LED化」を実施しており、これに伴う申込みが増加しています。

電柱街路灯の引下線については、機器取替工事に伴う開放・接続工事の取扱いが、各支店において一部異なっていたことから、明確化させていただきます。

敬具

記

1. 開放・接続工事者

電柱街路灯等の機器取替に伴う引込線（引込方法がチューブ引下に限る）の開放・接続工事は、機器取替作業と連続性があり、かつ工事内容が一般的な内線工事と同等であるため、当社施工（請負工事会社含む）から「お客さま施工」とします。

2. 引込線の開放・接続工事費

上記1に該当する開放・接続工事は、工事費負担金（諸工料）を申受けず、委託工事費についても無償とします。

3. その他

◆引込線工事を伴うもの（外灯ポール自体の建替等）については、従来どおり「請負工事」とします。

◆しゅん工検査において、接続工事（絶縁処理）の不良を発見した場合は、上記整理に基づき、屋内配線の接続不良として「調査結果のお知らせ票（不適合）」で通知させていただきます。

◆財産分界点と責任分界点は、現行どおり「引下線と器具配線の接続点」とします。

4. 適用開始時期

平成30年6月施工分より適用予定

平成30年4月24日
中部電力株式会社

平成30年度 引込線および内線工事請負契約の工量単価について

日頃は、弊社事業に格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、電力事業にご理解いただき、安定供給のためにご尽力くださり、重ねてお礼申し上げます。

さて、弊社の平成29年度個別業績予想については、燃料費等の期ずれ差損の影響もあり、減益を見込んでおります。

また、今年度は、経営目標である「連結経常利益1,500億円以上」の達成に向けた最終年度であります。足元の競争環境は依然として非常に厳しいと認識しており、このような環境下においても利益を確保できるよう、経営効率化の深掘りや収益拡大等により、事業基盤の強化に積極的に取り組んでいるところです。

このような経営環境を踏まえまして、平成30年度工量単価については、平成29年度単価据置でご提示させていただきます。

今後は、本契約を取り巻く環境におきましても、電力システム改革の進展に伴う法的分離等の動向により大きく変化するとともに、託送収支の事後評価の場において、事業者間で工事費等の比較を行う必要性が指摘されている等、外部からの目も厳しくなることが想定されます。

協力会の皆さまにおかれましては、今後の変化に対応するためにも、更なる経営効率化の深掘りに積極的に取り組んでいただきますようよろしくお願い申し上げます。

○提示工量単価

296.7円/工量(29年度単価据置)

以上